



エネルギー溢れる歌声を披露

あんだんて「結成 25 周年記念コンサート」・6/25 **No.6**

口和自治振興センターで、コーラスグループあんだんて「結成 25 周年記念コンサート」が開催され、150 人が来場しました。

当日は、あんだんてのほかジュニア合唱団やまびこ、バリトン歌手の久岡昇さんが美しい歌声を披露しました。

また出演者全員が参加し、それぞれがコーラスパートやソロパートを担当して行われたレクイエムの合唱は、この日一番の盛り上がりとなりました。

あんだんて代表の浅尾伸枝さんは「25 周年記念のコンサートを開催できて良かった。これからも団員一人丸となって取り組んでいきたい」と意欲を示しました。



▲歌声を披露するあんだんての皆さん

ホタルの光に集う

大屋ほたる見会・6/24 **No.8**

西城町大屋地区の自治会（今櫛会）が大屋多目的集会所で、4 年振りとなる「大屋ほたる見会」を開催し、地域内外から 120 人が参加しました。

当日は、おはなし会ダンボの紙芝居をはじめ、焼きそばなどの軽食販売、ヒバゴンとホタルの動画上映が行われました。西城紫水高校の生徒も協力し、会場は多くの人でにぎわいました。

日が落ちるのを待ちながら、催しを楽しんだ参加者は、その後会場近くのホタルスポットを散策し、小さな光が生み出す幻想的な風景を楽しみました。

参加した子どもは「友達と一緒にホタルが見られてうれしかった」「ピカピカしてきれいだった。また来年も見たい」と笑顔で話しました。



▲おはなし会ダンボによる紙芝居

具たくさん料理でおいしく減塩

減塩に関する啓発活動・7/6～7 **No.5**

東城町健康づくり推進員が、減塩に関する啓発活動を行うため、東城自治振興センターで集団健診を受けに来た人を対象に、塩分量を抑えたみそ汁の試飲会を行いました。

当日は、推進員が野菜を持ち寄り、塩分量を抑えた具たくさんのみそ汁を作りました。そして、立ち寄った人に市販のみそ汁と飲み比べてもらい、塩分量の差を確かめてもらいました。

試飲した人は「野菜がたくさん入っていて、味が薄いと感じなかった」「手作りのみそ汁は出汁が効いていてとてもおいしい」「高血圧なので減塩には気を付けたい」と話しました。



▲みそ汁を試飲

万々に備えて

比和女性防火クラブ炊き出し訓練・6/18 **No.7**

比和自治振興センターで、比和女性防火クラブの炊き出し訓練が実施されました。

同団体は、家庭での火災予防に関する知識の習得や、地域の防火意識の高揚を主な目的に活動しています。このたび、災害時に電気やガスが止まった際の対処法を学ぶため、エコストーブを使った炊飯訓練を行いました。エコストーブは、少ない燃料で効率よく燃えるのが特徴です。エコストーブを作成している NPO 法人比和まちミュージアム中村幸夫さんの指導の下、廃材や割りばしを燃料に 2 升の米を炊きました。

代表の津秋なおみさんは「ガスに比べ早く、ふっくらと炊きあがる。災害時の炊き出し支援の一つの方法として、有意義な体験ができた」と話しました。



▲エコストーブの使い方を学ぶ参加者

夏の運行を祝う

夏の庄原ライナーウエルカムイベント・7/22 **No.2**

夏休み期間初の運行となる芸備線快速「庄原ライナー」が、7 月 22 日から 8 月 20 日の期間の土日祝日に運行されています。

運行初日の 7 月 22 日、備後庄原駅で「庄原ライナーウエルカムイベント」が庄原駅周辺地区まちづくり協議会の主催で行われ、地域子どもたちが庄原ライナーを出迎えました。

イベントでは、子どもへの無料のおもちゃすくいや綿菓子のプレゼントのほか、かき氷などの出店があり、乗客や親子連れなど多くの来場者でにぎわいました。

来場者は「イベントはもちろん、普段なかなか見られないオレンジ色の車両を見られた」と喜んでいました。



▲庄原ライナーを出迎える参加者

ソフトボールでふれあい交流

第 54 回職域ソフトボール大会・7/2 **No.4**

市スポーツ協会高野支部野球部主催の第 54 回職域ソフトボール大会が、高野スポーツ広場・高野小学校グラウンドで行われ、町内企業・団体の 10 チームが参加しました。

コロナ禍で 3 年中断され、久しぶりの開催となった今大会は、参加者に無理のないよう各チーム 1～2 試合を行う対戦表が組まれました。

当日は、梅雨の晴れ間で青空が広がり、絶好のソフトボール日和となり、好プレーが続出した会場には、選手や応援の歓声が響いていました。

選手は「屋外で、思いっきり大きな声を出して試合ができてとても楽しい」と清々しい表情でした。



▲大会の様子

認知症の人の応援者を増やす

認知症サポーター養成講座・6/30 **No.1**

認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」の養成講座が、東城消防署で開催されました。

今回の養成講座は、市内のケアマネジャーや介護職員などで構成する「キャラバン・メイト」により行われ、消防署員 18 人が受講しました。

講座では、認知症の原因やその症状、支援方法についての講義が行われたほか、「最近、認知症が進行し鍋を焦がすようになった高齢者への対応」というテーマで、劇を交えながらどのようなサポートができるかを学びました。

受講者は「住宅への訪問時には、劇で習ったことを思い出して対応していきたい」と話しました。



▲講義をするキャラバンメイトのメンバー（写真左）

さまざまな仕事を体験

総領中学校職場体験学習・7/4～6 **No.3**

総領中学校 2 年生 9 人が、総領町内の市役所や保育所、自治振興センター、事業所などで仕事を体験する職場体験学習が行われました。

総領支所で職場体験をした生徒は、住民告知放送や高齢者を対象とした運動教室、図書館総領分館での作業などを体験し、市の仕事が多岐にわたることを学びました。

また、総領自治振興センターで職場体験をした生徒は、自治振興区が行っている農業体験用のキャベツの収穫、放課後子供教室、地域の草花などを SNS で紹介する仕事などを体験しました。

住民告知放送の録音を体験した生徒は「原稿を読むのは、何度もとり直すくらい難しかった」と話しました。



▲図書館の飾り付け作業 ▲住民告知放送の録音を体験